



# 横瀬町議会だより

No.95 2012.7.15 発行

## 紹介します! 「私たちは区長会です!」 町の団体③

横瀬町区長会は町内 23 地区を 23 人の区長で町と地域のパイプ役として活動しています。町内における文化産業の発展と災害防止や防火思想の普及と明るい町づくりのため努めています。



平成24年  
5月臨時会・6月定例会

議長に若林スミ子議員、

副議長に赤岩森夫議員

を新たに選出

P.2

編集委員が現地からレポート!

道の駅果樹公園あしがくぼ

P.4

一般質問

町に聞いた

安全対策・振興計画・  
役場組織活性化

「3名の議員が登場」

P.6



今号の  
ここに注目!

臨時会で  
新たに

選出された新議長・副議長からの就任あいさつを2ページに掲載。

また、編集委員(議員)が取材した果樹公園あしがくぼのレポート記事には、利用者やスタッフの「声」が満載です。ぜひご覧ください。

# 将来を担う子どもたちの 瞳が輝き続ける町に



議長 若林スミ子

平成11年より議会議員として働かせていただいています。このたび議長議長の任を拝し、さらに責任を果たしてまいりたいと思っております。

刻一刻と変化の激しい社会状況の中、住民生活に最も関係の深い行政運営にわり、住みよいまちづくりのために議会のかなめとして議員各位との活発な意見交流を図り、スムーズな行政執行ができるように適切な判断を示してまいります。

今後も進むであろう高齢化社会への対応、子育て世帯への支援や、社会資本の点検等、小さな自治体だからできることが必ずあると思います。

町民の皆様からの声を力に、より一層横瀬町の魅力が生かされ、将来を担う子どもたちの瞳が輝き続ける町を目標に、住民の皆様のご理解とご協力を賜りながら議会運営に全力で働いてまいります。

## 新議長・副議長からごあいさつ

町民の皆様には、日ごろ議会活動に対し別のご支援ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

去る5月の臨時議会におきまして、副議長に選任いただき、就任いたしました。もとより議会経験も浅く浅学非才な身ではありますが、議長を補佐し、議会の円滑な運営の実現に誠心誠意努力をしていく覚悟でございます。議員、執行部の皆様におかれましては今後とも、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、東日本大震災から一年余り経過いたしました。一日も早い復興のため、災害廃棄物(木くず)の処理が急務となっております。ところでございます。埼玉県と協力しながら、安全性を確保し災害廃棄物(木くず)を一日も早く処理し、復旧復興がなされることを願っているところでございます。

なお、町民の安心安全な横瀬町を目指して議会一丸となって町民の負託にこたえていきたいと思っております。どうか皆様のご指導ご鞭撻を心からお願ひ申し上げます、副議長就任のあいさつとさせていただきます。

## 議長を補佐し、 円滑な議会運営を



副議長 赤岩森夫

平成 24 年  
5 月臨時会 (5 月 17 日)  
6 月定例会 (6 月 20 日)



# 5 月臨時会で可決 東日本大震災で発生した がれき(岩手県北部の木くず)の受け入れに関する決議

横瀬町議会議員 殿

提出者 横瀬町議会議員 内藤 純 夫  
賛成者 横瀬町議会議員 若林 新一郎  
同 上 新井 鼓次郎

昨年 3 月 11 日に発生した東日本大震災からすでに 1 年以上の月日が経過しました。これまでも全国各地の多くの人々が、被災地の復旧復興に向けて様々な支援に取り組んでまいりました。しかしながら、その復旧復興の大きな障害となっているのが、膨大な量のがれきの処理であります。

現在でも、大震災により発生した約 2,253 万トンの 1 割程度のがれきの処理しか進まず、ほとんどのがれきの処理が残されている状況であります。このうち、岩手県、宮城県の約 400 万トンのがれきについて、政府は全国の自治体に対し広域処理の協力を呼びかけていますが、受け入れが進んでいないのが現状であります。

歴史の上でも最大級の震災であり、被災地の復旧復興は国の最優先の課題であることは言うまでもありません。また、被災地の方々の苦勞を思うと、この国難に対し国民全体が協力して、早期にがれきの処理に取り組むことが必要であります。がれきの処理なくして被災地の復興と被災された人々の安寧した暮らしの確保はあり得ないと思えます。

埼玉県より、当町内三菱マテリアル株式会社横瀬工場に対し、がれき受け入れの申し入れがあり、平成 24 年 3 月 25 日に埼玉県により三菱マテリアル株式会社横瀬工場での実証試験が行われました。その結果、受け入れを検討しているがれき(岩手県北部の木くず)についての放射線量等は、いずれも安全基準値以内であり、安全性が確認されたところであります。また、実証試験の結果を踏まえ、埼玉県による住民説明会も実施されました。

よって、横瀬町議会は、被災地の復興に寄与するために及び日本国民の責務として、横瀬町に対し、町民の理解と協力が得られるよう善処するとともに、埼玉県により安心、安全が確認されたがれき(岩手県北部の木くず)について、積極的に受け入れすることを進めるよう要請します。

以上、決議します。

平成 24 年 5 月 17 日  
横瀬町議会

# 道の駅

# 「果樹公園あしがくぼ」 議員レポート

議会だより編集委員会では、6月定例会で状況報告のあった「道の駅 果樹公園あしがくぼ」を応援するため、現地で利用者の皆様の声を聞いてきました。

(取材日 H24.6.23 10:00am. ~)

新鮮野菜、手打ちそば、パン、お饅頭等、たくさんあります。日々の買い物や休憩などに、お気軽にご利用されてはいかがでしょうか。



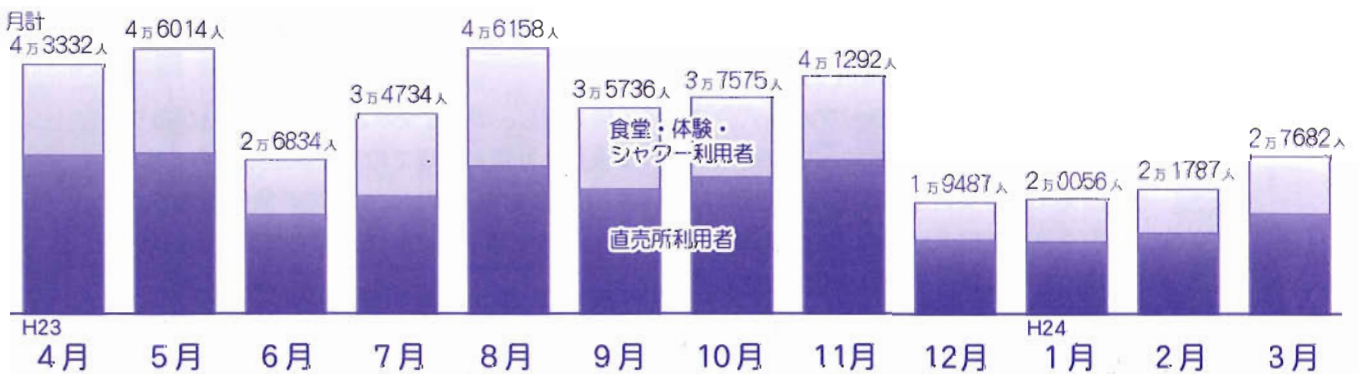
行き帰りの休憩場所には便利！

スタッフの接客態度がいいですね

新鮮野菜が目的のリピーターです！

環境がいい！

**平成 23 年度利用者数** 平成 23 年度の実績は、総売上額が約 3 億 2900 万円、利用者数は約 40 万人でした。



観光パンフレットもたくさん

食堂券売機 おすすめメニューがいっぱい

シャワー室は1回 10分で200円  
そば打ち体験道場の奥にあります



各テナントは、土日祭日に手工芸品などを出展



ギャラリーは、織物やのれん等、小物がいっぱい

## 23年度はこんな行事が

- 23年5月…春のそばまつり
- 7月…プラムまつり
- 9月…特別感謝祭抽選会  
アスガキボウ委員会連携事業  
歩楽～里よこぜスタンプラリー
- 10月…西武鉄道ハイキング
- 11月…歩楽～里よこぜスタンプラリー
- 24年1月…冬の秩父路魅力アップ発見ツアー  
ピZZァ作り体験
- 2月…いちごまつり

### お客様・テナント出展者の声

- ・小腹ものが少々高い。これらの販売が建物の外でされると便利。
- ・シャワー設備の誘導案内が不十分。
- ・二輪車の専用駐車場が欲しい。現状では歩道に乗り上げているようで印象が悪い。
- ・直売所からそば打ち道場にかけて、アーケードのような屋根を付けるとテナントの出展やお客様の奥への誘導がスムーズになり便利。滞在時間が長くなれば売り上げアップ。
- ・テナント料は安くて良い。
- ・素朴な感じがいいので、いわゆる「観光地化」してほしくない。

当日、大忙しの中、取材にご協力いただいた道の駅あしがくぼの村越さん、新井さん、各テナントの皆様、ありがとうございました。

今年には景気の影響か、お客様の出足は悪く、お金も使われなくなりました。そのような中、道の駅では、クレーム対応の迅速化、積極的な外販、出張販売に力を注いでいます。将来、道の駅の増設計画もあるそうなので、ぜひ、がんばっていただきたいものです。



明るい笑顔の村越さん、新井さん

### スタッフの取り組み

- ①安全を第一にお客様へサービスの提供をすることを徹底すること。
- ②常に、お客様目線を忘れることなく、真の人間性と心ある経営を心がけています。
- ③お客様のニーズを大切にしながら、「必要な道の駅・愛される道の駅」を目指し、一人でも多くの方にご利用いただけるような施設運営をモットーに、社員一丸となって業務運営をしていきたいと思っています。
- ④今後は秩父地方の玄関口として、地元的安全・安心な果

### 石橋支配人にインタビュー「今後の方針は？」

物や野菜を味わっていただく信頼ある場所としたい。また、多様なニーズに応えられるよう、サービスのレベルアップも図っていくつもりです。



直売所では、秩父特産品の販売も



EVスタンド 実証試験中は無料で充電可能



二輪車駐車場 案内はあるが使い勝手は？

# 「3名の議員が、町に考えを聞きました」



一般質問とは、議員が政策提言も含めて町政全般について質問するものです。質問したい議員は、事前に「こいつ質問をします」ということを示した「通告書」を提出しておかなければなりません。なお、横瀬町の本会議一般質問の持ち時間は、原則1人1時間以内です。

内藤純夫議員が聞く！

## 安全対策 ほか

### 問 通学路の安全対策に

ついて何う

**答** 学校・保護者等と連携して取り組んでいる

**問** 各地で集団登校中の子ども  
の列に自動車が出っ込む悲  
惨な事故が相次ぎ、通学路の安全  
対策は緊急性が高いと考えるが、  
現状と計画は。

**答** 教育次長：通学路の安全点  
検や安全教育は、学校へ依  
頼や指示をし、学校・保護者等と  
連携して取り組んでいます。

**問** 木くずの受け入れに対し、  
保護者の不安を解消するた  
めに、横瀬小・中学校ではどのよ  
うな調査・検査を行っているのか。  
**答** 教育次長：小・中学校とも、  
月3回（5カ所）、町民グ  
ラウンドは月2回（9カ所）の空  
間放射線量の測定をしています。  
結果は安全基準以下です。給食の  
放射能検査は週1回3品目の食材  
を検査し、測定器の検出下限値未  
満で不検出です。

**問** 被災地復興のため、木くず  
の受け入れを横瀬町に了承  
していただき、ありがたく思っ  
ているが、被災地はまだ問題が山積  
みだ。これからの復興支援に対し、  
町長の考えは。

**答** 町長：被災地の復興支援に  
協力していく上にも、風評  
に惑わされることなく、冷静に考  
え、客観的事実に基づいて判断し  
ていきます。

**問** 町の人口対策にとって、高  
齢者の支援対策を充実させ  
ることが重要だと思いが、町の考え  
は。また高齢化率についても何う。

**答** 健康づくり課長：横瀬町は  
65歳以上が25・9%、75歳  
以上が13・4%です。

保険・医療・福祉・介護と連携  
して施策の充実を図り、社会全体  
で見守り、高齢者が安心して住め  
る町をつくっていきます。

おおののぶえ  
大野伸恵議員が聞く！

## 振興計画 ほか

### 問 第5次横瀬町振興計画

について

**答** 総合的な指針として今後も必要

**問** 法律改正により、平成23年  
に振興計画作成の義務付け  
がなくなりましたが、平成22年度作成  
の第5次横瀬町振興計画のとらえ  
方は。

**答** まち経営課長：総合的・包  
括的に政策を実施するた  
め、また、将来ビジョンを掲げ、  
その実現に向けた指針を明示する  
機能を持つ計画は、今後も必要と  
考えます。現状をよく分析し、効  
果的な事業を実施していきます。

**問** 横瀬町都市計画区域内の用  
途地域である第1種住居地  
域の拡大と整備は。

**答** 建設課長：当町の都市計画  
区域内には農振農用地区域  
が点在しており、各種農業振興施

策を展開しております。第1種住  
居地域には農業振興地域を指定す  
ることができないことから、今  
後の農業振興施策の動向により、  
第1種住居地域の拡大等判断して  
いくことが賢明であると考えてお  
ります。

**問** 役員内での男女共同参画社  
会への取り組みは。また、  
産前休暇、育児休暇時の人事異動  
などの考え方と、本人の希望など  
への配慮は。

**答** 総務課長：女性管理職は、  
副課長1名・主幹2名で秩

父の他町村とさほど変わりはない  
ません。特別休暇などを気兼ねな  
く取得できる体制はできていると  
考えています。今後も女性の社会  
参加の向上を図り働きやすい環境  
づくりに取り組んでいきたいと思  
います。

とみたよしなり  
富田能成議員が聞く！

## 役場組織活性化

### 問 役場組織の活性化は

答 徐々に図られてきている

### 問

横瀬町は小さい町で、財政状況から予算（カネ）を使っていることには限界があり、「人材の最有効活用、組織の活性化がうまくできるか否か」が、将来の町の浮沈に大きくかわると考えられる。24年度の町長の施政方針の中で「職員の質の向上及び組織の活性化」という言葉はあったが、具体策には触れられなかったこと、昨年度、若年層含む中途退職者が少々多かったことなどもあり、今の役場が職員にやりがいを提供できているか、組織が活性化している状態にあるかが気になっている。

### 答

副町長…役場も民間企業と同様、最少経費で最大効果を目指す必要がある、そのために

も組織の活性化は大変重要であると認識しています。横瀬町役場においては、成果主義の導入により組織目標が明確になったことや、課の枠を超えて中堅・若手職員が議論できる行政経営戦略会議の設定等により、職員のモチベーション維持と能力向上、組織の活性化は徐々に図られてきていると考えております。

### 答

町長…行政経営戦略会議の活用等、新しい形態の役場組織を目指したいと思えます。



(イメージ)

## 提出議案と議決結果

### 5月臨時会

#### 選挙

議長・副議長  
選挙管理委員会委員及び補充員

#### 専決処分の承認

横瀬町税条例の一部を改正する条例  
横瀬町国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
以上すべて **全員賛成 承認**

#### 議決が出されました

東日本大震災で発生したがれき（岩手県北部の木くず）の受け入れに関する決議

### 6月定例会

#### 平成23年度の報告がされました

(有)果樹公園あしがくぼ(道の駅)経営状況  
一般会計繰越明許費繰越計算書

#### 条例を一部改正しました

横瀬町公民館設置及び管理条例 **全員賛成 可決**

#### 平成24年度 各会計予算を補正しました

一般会計・介護保険特別会計・水道事業会計

**全員賛成 可決**

#### 請願が出されました

障害者総合福祉法（仮称）の早期制定を求める請願書

**賛成多数 採択**

#### 国に意見書を提出しました

障害者総合福祉法（仮称）の早期制定を求める意見書について

**賛成多数 可決**

#### 人事案件

人権擁護委員候補者の推薦（余語正恵氏）

**全員賛成 同意**

お待ちしております！

町議会では皆さまからのご意見をお待ちしています。「生の声」をぜひお聞かせください。



一般質問の記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています。全文は、図書館に設置されている会議録のほか、議会ホームページからもご覧いただけます。



# 知ってください！ 議会活動

会議だけじゃない！  
「見て・聞いて・じかに感じる」  
これも議員の仕事です。



議員の仕事のひとつに「視察」があります。先進地への視察もちろんですが、身近で生活に直結する状況をつぶさに「見て・聞いて・感じる」ことが最も重要です。任期（4年間）のうちに、町内2カ所の町造林の視察を実施しています。

山道をゆく！！

## 芦ヶ久保町造林を視察

横瀬町には武甲山と芦ヶ久保に町造林があります。今回は芦ヶ久保地区の3カ所を視察しました。

視察先

芦ヶ久保字枇杷ノ沢 (23.56 ha)  
字南沢 (44.31 ha)  
字桑ノ木入 (8.06 ha)

実施日:2012. 7. 2 (月)

参加者: 議会議員 8名  
議会事務局 1名  
まち経営課 2名



“森の名人”から説明を受けています  
(南沢)

東 西  
視 察  
奔 走  
研 修  
ヒントはどこにある？

樹齢四、五十年の杉や檜ですが、町が造林するものと、町有地を造林組合に貸し付け、伐採時の収益の一部を受け取る契約のものがああります。県の補助金で間伐もされ、良好に管理されていました。

伐採の時期を迎えようとしています。現在の木材価格では利益はとても期待できないとのことでした。また、貸付契約満了期日も直近であり、今後の課題とのことでした。

私たちの原風景である美しい山河も、そのひとつひとつはまさに、時代の激流にさらされた厳しいものであり、大きな宿題を抱え、視察を終えました。

間伐され、良好に管理されています  
(枇杷ノ沢)



「私たちが編集しています！」  
議会だより編集委員会

- 委員 長 町田勇佐久
- 副委員 長 大野 伸恵
- 委 員 関根 修
- 委 員 内藤 純夫
- 委 員 新井鼓次郎
- 委 員 富田 能成

さて今回は、議会報告のほか、道の駅あしがくぼのレポート、町造林の視察についてお届けしました。町の大切な財産です。しっかりと見守っていきたいと思います。皆様のご意見等、お聞かせいただければ幸いです。

(K・A)

## 編集後記

5月臨時会では、岩手県からの災害廃棄物（木くず）の受け入れについて発議があり賛成多数で決議されました。町はこれを受け、5月30日に受け入れを了承し、埼玉県と覚書を締結しました。被災地復興の一端を横瀬町が担えることを誇りに思います。議会としても、安全性の確認について今後とも注視していきます。